

しよぼう よぼう あんしん けっかくよぼうしゅうかん 知って予防、みんなで安心～結核予防週間～

ほけんだより
令和2年度 第7号

令和2年9月18日
喜界町立早町小学校
保健室

9月24日から9月30日は、「結核予防週間」です。結核予防週間とは、結核がどのような病気なのか、結核を予防するためにどのような活動がされているのかを知り、結核に対する正しい理解を得るための週間です。

「結核」ってどんな病気？

結核とは、結核菌によって主に肺に炎症が起きる病気です。日本でも1950年代までは「国民病」「亡国病」と恐れられ、死亡原因の第1位でしたが、今では医療や生活水準の向上により、薬を飲めば治せる時代になりました。そのため、日本では「昔の病気」と思っている人も多くいます。

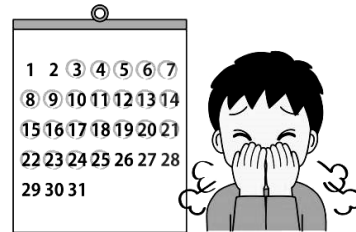
しかし、世界では、毎年1千万人が新たに発病し、150万人が亡くなっています。さらに、日本では昨年1年間で15,590人が発病し、2,204人が亡くなりました。結核は、診断や治療、予防方法が分かっていた病気ではありませんが、今でも世界の死亡原因トップ10に入る病気です。そのため、世界中で制圧のための取組が進められています。

こんな症状に注意！

結核の最初の症状は、咳や発熱など風邪とよく似ています。また、結核に感染していても症状が出ない場合もあります。体調不良が2週間以上続く場合は、「ただの風邪」や「疲れ」では済まないこともあります。

【こんなときは早めに受診しましょう】

- たんのからむ咳が2週間以上続いている。
 - 微熱や体のだるさが2週間以上続いている。
- 特に高齢者の場合はこのような症状が出ないことがあり、年に一度の健康診断の受診が勧められています。



わたしたちに身近な結核予防

- ① 予防接種 (BCG ワクチン)
赤ちゃんが結核に感染すると重症になりやすいです。そのため、生後5カ月～8カ月の間に予防接種をすることが勧められています。
- ② 健康診断
学校で毎年実施している内科検診の中で結核検診が実施されています。小・中学生は、みなさんのお家の人に「結核検診問診票」を書いてもらいます。この問診票をお医者さんにみてもらい、結核の疑いがあるかどうかを判断してもらっています。
ちなみに、高校生以上になると「エックス線間接撮影 (レントゲン)」という方法で検査をします。
- ③ 規則正しい生活と咳エチケットの徹底
好き嫌いをせずにしっかり食べて、適度に体を動かして、ぐっすり眠ること、そして咳やくしゃみが出るときはマスクをすることが結核の予防でも大切です。



←学校には毎年、結核予防週間に合わせてこのようなポスターとリーフレットが届きます。(作成：公益財団法人結核予防会)
結核のことや結核予防のための取組については、結核予防会や厚生労働省のホームページなどでも紹介されています。